

阪神・淡路大震災の概要

防災福祉コミュニティ活動において阪神・淡路大震災の教訓を伝えることは、最も重要なことです。ここでは、その概要について記載しています

1 平成7年兵庫県南部地震の概要

平成7年1月17日未明に阪神・淡路地域を襲った「兵庫県南部地震」は、日本で初めての近代的な大都市における直下型地震であり、大きな破壊力をもって、未曾有の被害をもたらしました。

- | | |
|--------|-------------------------|
| ① 発生日時 | 平成7年1月17日午前5時46分 |
| ② 震源 | 淡路島（北緯34°36′ 東経135°02′） |
| ③ 震源深さ | 約16km |
| ④ 規模 | マグニチュード7.3（※） |
| ⑤ 震度 | 震度6（一部地域で震度7） |
| ⑥ 特徴 | 横揺れと縦揺れが同時に発生 |

※平成13年4月23日気象庁の見直しに伴い、マグニチュード7.2から修正



消失した建物<灘>



傾いたビル<中央>



焼けた車両等<長田>

2 被災状況

震災は、多くの命を奪うとともに、都市基盤や建築物に甚大な被害を与え、市民に直接的な大被害を与えました。また、復旧の長期化に伴い、産業、都市機能、生活などに様々な影響を及ぼしました。

(1) 被害概要（神戸市外含む）

- | | |
|------------|----------|
| ① 死亡者 | 6,434人 |
| ② 負傷者 | 43,792人 |
| ③ 全壊及び半壊棟数 | 241,180棟 |

(2) 市民生活への被害（神戸市のみ）

①人的被害（神戸市）

- ・死亡者 4,571人（H17.12.22変更）不明者 2人
- ・負傷者 14,678人（H12.1.11）
- ・高齢者（60歳以上）死亡者 約59%※
- ・家屋倒壊による死者 多数（窒息・圧死が全体の約70%※）

※高齢者、家屋倒壊による死者の割合は、平成17年12月22日現在（死者4,571人）での割合（ただし、窒息・圧死の割合は直接死3,895人での割合）

②避難

- ・ピーク時：避難所箇所数 599箇所（H7.1.26）
避難人数 236,899人（H7.1.24）
避難所就寝者数 222,127人（H7.1.18）

③公共施設の被害

- ・市役所、病院等の重要公共施設の破損、倒壊

④学校教育・社会教育・文化施設の被害

- ・学校園の約85%が被災
- ・博物館、中央図書館旧館、ポートアイランドスポーツセンター等の破損、倒壊
- ・酒蔵、異人館等の破損、倒壊



焼けたビル<須磨>



破損した高架橋<東灘>



救援物資の車列<中央>



動物園が自衛隊基地に



建設が進む仮設住宅



炊き出し風景

※ 写真等資料：神戸市ホームページより

《震災資料室》

震災についての資料や映像など、下記のホームページなどで閲覧できます。非常用持ち出し品などの情報もありますので参考にしてください。

【神戸市ホームページ】

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/15/020/quake/>

【人と防災未来センターホームページ】

<http://www.dri.ne.jp/>

【阪神・淡路大震災関連情報データベース】

<http://sinsai.fdma.go.jp/search/>